

目指せ！幸せ人口1000万
富山を元気にするまちづくりプロジェクト募集

まちづくりコンテスト プロジェクト募集の手引き

富山県地方創生局



R7.12.9追記版

最新情報はこちらから（県HP）

1. まちづくりコンテストとは①

富山県成長戦略のビジョン

幸せ人口1000万

ウェルビーイング先進地域、富山を目指して

県内の人人が幸せになり、県外の人を惹きつけられる

富山らしい個性的なまちづくり



富山を元気にする“まちづくりプロジェクト”を県がサポートします

- ✓ 富山の地域課題解決がミッション
- ✓ ビジネスの手法で地域課題を解決
- ✓ 活動を通して、社会にいい変化をもたらす

1. まちづくりコンテストとは②

“まちづくり”に興味はあるけど、
一体どうすればいいの？ という方を募集します！

- ☑ アイデアはあるけど、実現の仕方がわからない
- ☑ 一緒に活動してくれる仲間がほしい
- ☑ 活動に必要なお金をどのように集めればいいかわからない



そのお悩み、聞かせてください！
県が応援します！

そのアイデア、皆とシェアしてみませんか？

個性的なお店が多い魅力を活かして、まちなかを大人が遊びに来る目的地にしたい

知られざる富山の食の情報を発信して、販路を開拓し、生産の担い手確保につなげたい

富山ならではの風景を感じるサイクリングコースを集約し県外からファンを呼び込みたい

地域で子育てや介護の課題を共助できる新たな居場所を作りたい

2. 参加のメリット

まちづくりコンテストに参加すると、次のサポートが受けられます！

①応募

提案内容への
アドバイス



②公開プレゼンで発表

活動PR



③支援対象に選定

アドバイザー
相談支援



オンライン審査では全員の
提案内容へアドバイス

公開プレゼンは一般公開
他の個人・団体ともつながれる

選ばれたプロジェクトは
県がアドバイザー相談を支援

応募すると、
提案内容にアドバイスがもらえます！

提案内容をオンライン審査で発表



全ての提案内容について審査員から
アドバイス・フィードバックがもら
えます！



コンテスト出場で、活動のPR効果が期待できます！

- ✓ コンテスト受賞者の活動は、県のメディアで広く紹介します
- ✓ 公開プレゼンの様子は、YouTube配信や、アーカイブ動画で公開します
- ✓ 審査員や発表者など、多くの人とつながれます
- ✓ 発表内容に対して、審査員からフィードバックが受けられます



2024年のアーカイブはこちらから

支援対象に選定されると、 アドバイザーの相談支援が受けられます！

- ✓ アドバイザー相談費用は、県が負担します
- ✓ 応募時にサポートしてほしい内容を提案いただきます
- ✓ コンテスト後に要望をお聞きし、相談支援プランを調整します

アドバイザーへの相談例

- ・活動を続けていくために、どのように資金を集めればいいか教えてほしい
- ・仲間を増やしたいが、地域でのネットワークの作り方や説明の仕方を教えてほしい
- ・やってみたいアイデアはあるが、どうすれば実現できるのか教えてほしい
- ・SNSでのPRをしているが、どうしたら活動をもっと知ってもらえるか教えてほしい
- ・組織をつくるために必要な手続き（登記や会計処理）について教えてほしい

下記の要件を満たす個人または団体

富山県内で、地域課題解決プロジェクトに取り組みたい

富山を元気にしたい！という情熱を持っている

こんなあなたも対象です！

- ・ 老若男女問わず、これから何かやってみたい人！
- ・ 学生も大歓迎！
- ・ 任意団体の方や県外在住の方も応募いただけます！



**まちづくりは
皆さんのが主役です！**

※①宗教的活動または政治的活動を主たる目的とするもの、②公序良俗に反する活動を行うもの、③暴力団またはその利益となる活動を行うものは対象となりません

下記の要件のすべてを満たす提案



次の視点を参考とした地域課題の解決や富山の活性化を目指す

みんなが
イキイキ

ママ・パパ
がよろこぶ

移住者が
ふえる

働く場所が
ふえる

女性が
活躍する

からだが
よろこぶ

自然と
共存する

？？？
(オリジナル提案)



概ね 1～3 年先の目標を持ち、ビジネスの手法を活用して
継続的な活動を目指す



新たな活動の立上げ、または既存の活動の発展を目指す
(対象エリア・事業内容の拡充、収益化などの新規要素がある)

4. 応募対象となる提案 ③採択枠

- ・応募時に、下記のいずれの枠での採択を希望するか選んでいただきます
- ・審査過程で、内容に応じて別枠で採択する“スライド採択”となる場合もあります

※スライド採択希望の有無は、応募時に確認いたします

スタート枠

①対象者

まちづくりプロジェクトの立上げを目指す
個人・団体

- ・アイデアはあるが、事業計画にまとめられていない
- ・活動メンバーや、プロジェクト初期の活動資金が不足
- ・3年以内を目安に、プロジェクトを開始したい

②採択された個人・団体へのサポート

- ・県のアドバイザー相談支援
(事業計画づくり等へのサポート)

③採択予定

2プロジェクト程度

ステップアップ枠

①対象者

まちづくりプロジェクトの自立化を目指す
個人・団体

- ・プロジェクトの収益化など、持続可能な運営体制の構築が必要
- ・1年以内を目安に、事業をブラッシュアップしたい

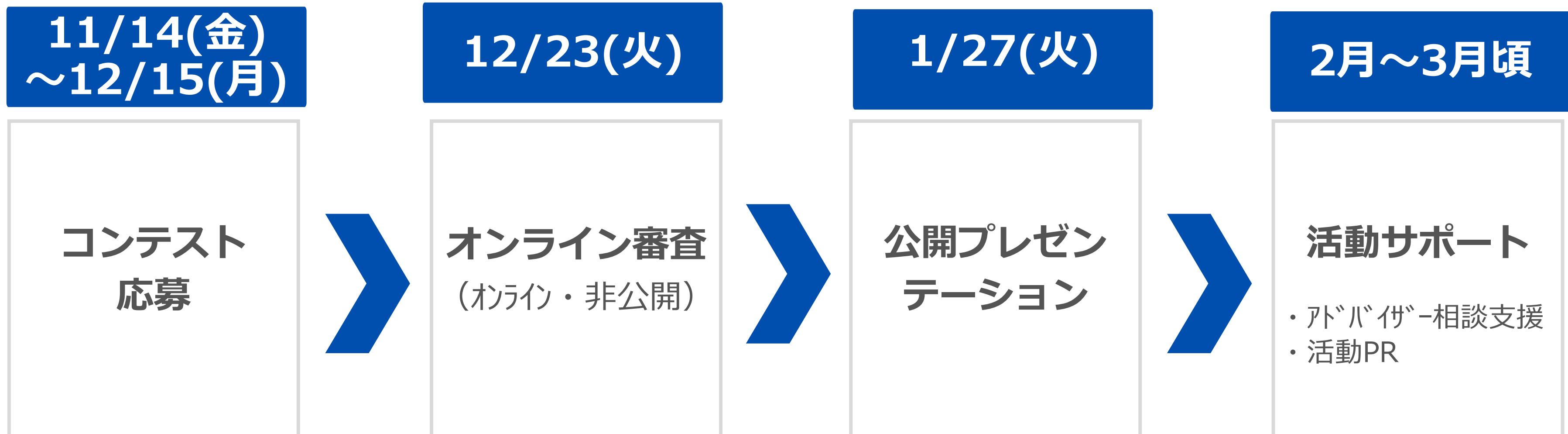
②採択された個人・団体へのサポート

- ・コンテスト受賞者として県が活動をPR
- ・県のアドバイザー相談支援(活動への助言)

③採択予定

2プロジェクト程度

オンライン審査で支援対象プロジェクトを決定 公開プレゼンテーションで発表



※オンライン審査の結果は
12月下旬頃に応募者へ
お知らせします

※内容によっては、プロジェクト実施時に助成制度の紹介も
可能です

5. 対象プロジェクトの決め方 ②コンテストの内容

オンライン審査（オンライン開催：非公開）

- ・オンラインでの審査に基づき、支援対象・公開プレゼンテーションに参加する個人・団体（4個人・団体程度）を選びます
- ・応募者からの説明（1個人・団体あたり3分程度）の後、審査員からアドバイス・フィードバックをいただきます
- ・12月23日（火）18時～21時（予定）の間にオンラインで開催します（詳細なタイムスケジュールは、応募締切後に個別にご連絡します）
- ・オンライン審査の結果は、12月下旬頃に応募者にお知らせします

公開プレゼンテーション（会場開催）

- ・オンライン審査で選定された個人・団体によるプレゼンテーション（1個人・団体あたり10分程度）を実施し、それに対して審査員からの質疑応答・コメント（1個人・団体10分程度）を行います
- ・1月27日（火）18時から21時（予定）に、ひとり座ライブホールで開催します

5. 対象プロジェクトの決め方 ③審査ポイント（スタート枠）

①スタート枠

■ポイント合計100点

観点	内容	配点
実現可能性	実現可能性があるか	10点
継続性	継続的に活動しようとする意志があるか	10点
期待度	サポートにより、大きな効果が期待できるか	30点
目のつけどころ	プロジェクトの着眼点がユニークか、地域課題・ニーズに合っているか、社会的なインパクトが期待できるか	15点
	多様な観点（例：女性や若者、移住者など）を取り入れているか	15点
意欲・熱意	プロジェクトへの意欲・熱意があるか	20点

5. 対象プロジェクトの決め方 ④審査ポイント（ステップアップ枠）

②ステップアップ枠

■ ポイント合計100点

観点	内容	配点
実現可能性	実現可能性があるか	20点
持続可能性	収益化の仕組みなど、持続可能な運営体制の構築に向けた構想があるか	30点
将来性	プロジェクトの実施により、地域への新たな価値の提供が期待できるか	10点
目のつけどころ	プロジェクトの着眼点がユニークか、地域課題・ニーズに合っているか、社会的なインパクトが期待できるか	15点
	多様な観点（例：女性や若者、移住者など）を取り入れているか	15点
意欲・熱意	プロジェクトへの意欲・熱意があるか	10点

5. 対象プロジェクトの決め方 ⑤審査員（五十音順）

審査委員長



明石 博之氏

株式会社 空と箱
代表取締役



島田 優平氏

一般社団法人ジソウラボ
代表理事



佐藤 一絵

富山県副知事



中谷 幸葉氏

一般社団法人とやまのめ
代表理事

6. スケジュール

- 募集から選定後までの主なスケジュールは下記のとおりです
- スケジュールが変更となる場合がありますので予めご了承ください

項目	期間
1. 募集期間	令和7年11月14日（金）～12月15日（月）17時
2. オンライン審査	令和7年12月23日（火）18時～21時（予定）
3. 結果通知	令和7年12月下旬
4. 公開プレゼンテーション	令和8年 1月27日（火）18時～21時（予定）
5. アドバイザー相談支援	令和8年 2月～3月

7. 応募方法

提出書類

下記の2点を提出してください

①エントリーシート

- ・応募者概要、提案の概要、申請枠、必要なサポート等を記載いただきます。
- ・次のフォームから入力してください。

<https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/HpL2C6Bf>



エントリーシート用

②事業提案書【様式任意・PDF形式】

- ・公開プレゼンテーションでの発表（10分程度）を想定して作成いただきますが、オンライン審査での説明は3分程度を予定しています。
- ・ファイル名は「提案プロジェクト名_応募者名」としてください。
- ・次のフォームから送信してください。（1ファイルのみ）

<https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/yndW6BeB>



事業提案書用

応募締切

令和7年12月15日（月）17時



事業提案書は、オンライン審査で使用しますので、応募締切までに
忘れずに提出してください！
また、公開プレゼンテーションで発表する方は、オンライン審査を
踏まえて別途最終版を提出いただきます

8. 2024 まちづくりコンテストの成果①

グランプリ

なめりかわ建物フェス実行委員会

【プロジェクトの概要】

- ・滑川の建築文化遺産を一齊開放するイベントを開催し、市内外の方に建物とまちの歴史を知ってもらうことで、まちへの愛着を高めるプロジェクト

【コンテストでの審査員からの評価コメントなど】

- ・建築にしぼってフェスをするという目のつけどころが素晴らしい

【コンテスト後の状況】

- ・2025年3月に、なめりかわ建物フェスを開催
- ・合同会社つむぎ舎のコジマユイさん、藤沢うるうさんに依頼し、まち歩きガイドツアー、SNS・クラウドファンディングでのPRなどの企画・運営に対しアドバイス
- ・県の補助金を活用し、イベント開催費用をサポート（県補助額192万円）
- ・記者会見を行った2024年12月以降、多くのメディアに活動が掲載
- ・クラウドファンディングでは、100人超の応援があり、目標金額50万円を達成

【公式サイト】 <https://namefes.jp/>



8. 2024 まちづくりコンテストの成果②

準グランプリ

イナミライ

【プロジェクトの概要】

- 中高校生と一緒に井波の路地の魅力を向上させるプロジェクト。地域の大人と一緒に街を歩き・学び、地域の魅力や課題を再発見する。

【コンテストでの審査員からの評価コメントなど】

- ビジョン・体制・雰囲気など、まちを包括的に楽しく未来につなげていく取組みとして、素晴らしい

【コンテスト後の状況】

- (株)スタジオシュワリの種昂哲さんに依頼し、ふさわしい場所の選定や、コンセプトの重要性など、中高生とのワークショップの企画運営に対しアドバイス
- 県の補助金を活用し、フォーラム開催費用をサポート（県補助額16万円）
- まちなかの賑わいのハブとなる公園づくりを目指し、マルシェ等の社会実験や、地元との意見交換を通して構想をまとめる。2025年2月のフォーラムでお披露目。
- 路地活性プロジェクトの本格実施に向け、井波中学校での活動紹介や、高岡向陵高校生とのまち歩き等を通して、中高生や学校との交流を深める。

【公式サイト】 <https://inami.town/>



8. 2024 まちづくりコンテストの成果③

準グランプリ

musubibiレスキュー部

【プロジェクトの概要】

- ・古い家の不要な古材等を引き取り、レスキューすることで空き家活用につなげるプロジェクト。使える空き家を発掘し、新店舗や移住の増加につなげることを目指す。

【コンテストでの審査員からの評価コメントなど】

- ・地域としての魅力が高まり、歴史を紡ぐ素晴らしいプロジェクト

【コンテスト後の状況】

- ・(株)OZ Linksの原井紗友里さんに依頼し、レスキュー事業の継続的な事業運営を目指し、収益化の仕組みなど、事業化構想のブラッシュアップに対してサポート
- ・(株)ReBuilding Center JAPANの東野唯史さん、東野華南子さんに依頼し、地域への活動のPRに対してサポート
- ・まちづくりコンテストの受賞がきっかけで、地域から空き物件探しへのサポートが得られ、活動拠点を確保。レスキュー事業の立ち上げに向け、蔵の片付けやDIYによるリノベーションを進める。
- ・2025年3月に「リビセンに聞く！レスキューで広がるまちづくり」をテーマに講演会を開催。活動の趣旨をPRするなど、地域内外との交流を深める。

【公式サイト】 <https://musubibi.net/>



8. 2024 まちづくりコンテストの成果④

ファイナリスト

まめな食つむぎ隊

【プロジェクトの概要】

- ・オーガニックの素材を使ったみそ作りワークショップを通じ、食の大切さを学ぶプロジェクト

【コンテストでの審査員からの評価コメントなど】

- ・みそづくりから始まる雇用促進や女性活躍といった視点はとても面白いアイデア

【コンテスト後の状況】

- ・生産者とつながりがある他地域の活動団体とマッチング
- ・活動に共感する生産者・消費者を増やすため、無農薬・無化学肥料栽培講座や、みそ作りワークショップを実施

【公式サイト】

https://www.instagram.com/mamena_shoku_tsumugitai/



ファイナリスト

つながるごはん

【プロジェクトの概要】

- ・上市町のオーガニック給食を推進し、有機農地や移住者の増加を目指すプロジェクト

【コンテストでの審査員からの評価コメントなど】

- ・オーガニック給食で富山への移住者を増やすという考えは魅力的

【コンテスト後の状況】

- ・行政担当者に活動を知つてもらう方法を県がアドバイス
- ・2024年11月に、自然栽培で収穫した米を小中学校の給食に提供。認知度を高めるため、映画の上映会等を開催

【公式サイト】

<https://www.instagram.com/tsunagaru.gohan/>



8. 2024 まちづくりコンテストの成果⑤

ファイナリスト

一般社団法人ばいにやこ村

【プロジェクトの概要】

- ・富山県を舞台に、まちづくりに挑戦するショートドラマの制作を通じ、地域プレイヤーを増やすプロジェクト

【コンテストでの審査員からの評価コメントなど】

- ・今注目されているショートドラマをいち早く富山に取り入れ、まちづくりやPRに繋げる発想が素晴らしい

【コンテスト後の状況】

- ・県の補助金を活用し、ショートドラマの制作費用をサポート（県補助額250万円）
- ・県内各地のプレイヤーを紹介するショートドラマの制作を進め、2025年3月から、順次公開

【公式サイト】 <https://toyama.club/>



ファイナリスト

愛本アクティブプランナーズ

【プロジェクトの概要】

- ・地域活性化に住民主体で取り組む団体がSNS、伝統文化、農業を良くし、関係人口の増加を目指すプロジェクト

【コンテストでの審査員からの評価コメントなど】

- ・中山間地での課題解決からはじまって、コツコツと花開くところまで進んでいることに敬意を表する

【コンテスト後の状況】

- ・自立的な運営など、課題を話し合う意見交換会を開催
- ・地区内の交流を深めるイベントを行うほか、愛本地域ならではの風景・活動をSNSで積極的に発信
- ・県補助金を活用し、活動費用をサポート（県補助額50万円）

【公式サイト】

<https://www.instagram.com/aimotoaap/>



まちづくりコンテストでの審査員からの評価ポイントなど

- ☑ プロジェクトの着眼点がユニークか
- ☑ プロジェクトの内容が地域の特色を生かしているか
- ☑ プロジェクトを実施することで、どのようなまち・地域にしたいか
ビジョンが明確か
- ☑ プロジェクトを実施するうえでの課題が明確か
- ☑ プロジェクト提案者が、熱い思いを持って取り組んでいるか

9. お問い合わせ先

主催

受託運営・お問い合わせ

webサイト

富山県地域振興課

株式会社Asian Bridge 富山LAB

TEL : 076-471-6701 (受付時間 9:30~17:00)

E-mail : toyama@asianbridge.co.jp

https://www.pref.toyama.jp/140401/r7_machicon.html

応募を検討している方や、どんな内容で応募できるのか知りたい方は、

こちらのフォームからお気軽にお問い合わせください。

まだアイデア段階でも大歓迎です！運営スタッフから折り返しご連絡いたします。



お問い合わせフォーム



1月27日(火)の公開プレゼンテーションは、どなたでも参加いただけます

活動を応援したい方、多くの人とつながりたい方、一緒に活動してみたい方など、

皆さまのご来場をお待ちしています！随時最新情報をアップしますので、ご確認ください



最新情報はこちらから（県HP）